

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【公開番号】特開2008-46418(P2008-46418A)

【公開日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【年通号数】公開・登録公報2008-008

【出願番号】特願2006-222710(P2006-222710)

【国際特許分類】

G 0 3 B 5/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 5/00 J

H 0 4 N 5/225 D

H 0 4 N 5/232 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月13日(2009.5.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮影光学系により結像される被写体像を受けて画像データを生成する撮像素子を変位させて像ブレ補正動作を行なう像ブレ補正装置において、

基台と、

上記撮像素子の受光面に平行な面内における第1の方向に沿って上記基台に対して変位可能に支持される第1の移動部材と、

上記第1の移動部材と共に上記第1の方向に沿って変位可能であり、上記撮像素子の受光面に平行な面内において上記第1の方向と略直交する第2の方向に沿って上記第1の移動部材に対して変位可能に支持され、上記撮像素子を支持する第2の移動部材と、

上記基台に設けられ、上記第1の移動部材を駆動するための第1のモータと、

上記基台に設けられ、上記第2の移動部材を駆動するための第2のモータと、

上記第1のモータにより上記第1の移動部材を駆動する第1の駆動機構と、

上記第2のモータにより上記第2の移動部材を駆動し、上記第1の移動部材の上記第1の方向に沿う変位に伴い上記第2の移動部材が上記第1の方向に沿って変位可能とした第2の駆動機構と、

を具備したことを特徴とする像ブレ補正装置。

【請求項2】

撮影光学系により結像される被写体像を受けて画像データを生成する撮像素子を変位させて像ブレ補正動作を行なう像ブレ補正装置において、

基台と、

上記撮像素子の受光面に平行な面内における第1の方向に沿って上記基台に対して変位可能に支持される第1の移動部材と、

上記第1の移動部材と共に上記第1の方向に沿って変位可能であり、上記撮像素子の受光面に平行な面内において上記第1の方向と略直交する第2の方向に沿って上記第1の移動部材に対して変位可能に支持され、上記撮像素子を支持する第2の移動部材と、

上記基台に設けられ、上記第1の移動部材を駆動するための第1のモータと、  
上記基台に設けられ、上記第2の移動部材を駆動するための第2のモータと、  
上記基台に設けられ、上記第1のモータにより駆動される第1のリードスクリューと、  
この第1のリードスクリューの回転により上記第1の方向に沿って変位する第1のナット  
とからなる第1の駆動機構と、

上記基台に設けられ、上記第2のモータにより駆動される第2のリードスクリューと、  
この第2のリードスクリューの回転により上記第2の方向に沿って変位する第2のナット  
とからなる第2の駆動機構と、

上記第1の移動部材に設けられ、上記第1のナットと係合する第1の係合部と、  
上記第2の移動部材に設けられ、上記第2のナットと係合する第2の係合部と、  
を具備し、

上記第1の移動部材の上記第1の方向に沿う変位に伴って上記第2の移動部材が上記第  
1の方向に沿って変位した際に、上記第2のナットと上記第2の係合部とは、上記第1の  
方向に沿ってその当接位置が変位することを特徴とする像ブレ補正装置。

【請求項3】

上記第2の係合部に設けられ、上記第2のリードスクリューを囲い、かつ上記第1の方  
向に延出する切欠部を、さらに有して

この切欠部は、上記第1の移動部材の上記第1の方向に沿う移動量よりもその切り欠き  
が大きく形成されていることを特徴とする請求項2に記載の像ブレ補正装置。

【請求項4】

上記第2の係合部と上記第2のナットは、上記第1の駆動機構が配される領域を上記第  
1の方向へと延長した領域の近傍に配されることを特徴とする請求項2に記載の像ブレ補  
正装置。

【請求項5】

上記第2の駆動機構は、上記第1の駆動機構が配される領域を上記第1の方向に沿って  
延長した領域の近傍に配されることを特徴とする請求項2に記載の像ブレ補正装置。

【請求項6】

上記第1の駆動機構が配される領域と、上記第2の駆動機構が配される領域との間に、  
上記第1の移動部材を支持する支持軸が配されることを特徴とする請求項5に記載の像ブ  
レ補正装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記目的を達成するために、本発明による像ブレ補正装置は、撮影光学系により結像される被写体像を受けて画像データを生成する撮像素子を変位させて像ブレ補正動作を行なう像ブレ補正装置において、基台と、上記撮像素子の受光面に平行な面内における第1の方向に沿って上記基台に対して変位可能に支持される第1の移動部材と、上記第1の移動部材と共に上記第1の方向に沿って変位可能であり、上記撮像素子の受光面に平行な面内において上記第1の方向と略直交する第2の方向に沿って上記第1の移動部材に対して変位可能に支持され、上記撮像素子を支持する第2の移動部材と、上記基台に設けられ、上記第1の移動部材を駆動するための第1のモータと、上記基台に設けられ、上記第2の移動部材を駆動するための第2のモータと、上記第1のモータにより上記第1の移動部材を駆動する第1の駆動機構と、上記第2のモータにより上記第2の移動部材を駆動し、上記第1の移動部材の上記第1の方向に沿う変位に伴い上記第2の移動部材が上記第1の方向に沿って変位可能とした第2の駆動機構と、を具備したことを特徴とする。